

新 和牛子牛専用代用乳 くろっけ

哺育時期は全ての生産活動のスタート地点として、重要なポイントとなります。

和牛専用代用乳 **くろっけ** を使って、健康で元気な子牛を育てましょう！

製造工場での顆粒化技術の採用により、従来より更に溶けやすくなりました。

特徴

1. 中鎖脂肪酸 (MCT) の採用
MCTは通常の油脂と比べると、4倍のスピードで消化、吸収されます。子牛にすぐに利用できるエネルギー源として有効です。
2. ガラクトオリゴ糖・トヨイ菌の添加
子牛の腸内細菌叢を良好にします。特にストレスのかかる条件下の子牛に有効となり、子牛の発育を助けてくれます。
3. 血漿たんぱくの採用
血漿たんぱく(天然アルブミン・グロブリン)は子牛の体内で良好なたんぱく質源となり、腸管での免疫としての効果があります。

給与方法

- 代用乳は、自家産子牛の場合は生後8~14日齢、導入子牛の場合は導入後1~7日目を馴致期間として徐々に代用乳の量を増やし、自家産子牛は15日齢、導入子牛は8日齢から規定量給与とします。また、給与量は子牛の生時体重によって給与量を変えます(表1)。
- 代用乳の量は、食欲、ふんの状態に応じて変えてください。
- 人工乳は8日齢からスターター(らくらく健太)を給与し、摂取量が500g/日になった時点で粗飼料入り人工乳(ヤングスターター)への切り替え(併給)給与を開始します。
- 人工乳を1,000g以上を2~3日摂取したことを確認してから離乳します(6~7週齢が目安)。

表1. 代用乳の馴致方法

生時体重 (導入時体重)	導入日	生後8~14日齢		生後15日齢以降	
		1~7日目	8日目以降	1~7日目	8日目以降
25kg以下	電解質	150g	180g		
25~35kg	電解質	180g	200g		
35kg以上	電解質	200g	250g		

上記量を生後8~14日齢は1.5L、生後15日齢以降は1.8Lのお湯に溶かして1日2回給与する。

当社の人工乳
【らくらく健太】
嗜好性の良い、エネルギー価の高い人工乳です。
【ヤングスターター】
良質な粗飼料原料を配合した人工乳です。

東北事業部
024-0004部
北上市村崎野
一四割一七四一
TEL 〇一九七六六二二二六
FAX 〇一九七七一三三〇七

雪印種苗株式会社
編集発行人 菊地 庸
本社 062-8650 札幌市豊平区美園二条一丁目
TEL 〇一一八三一二二六一

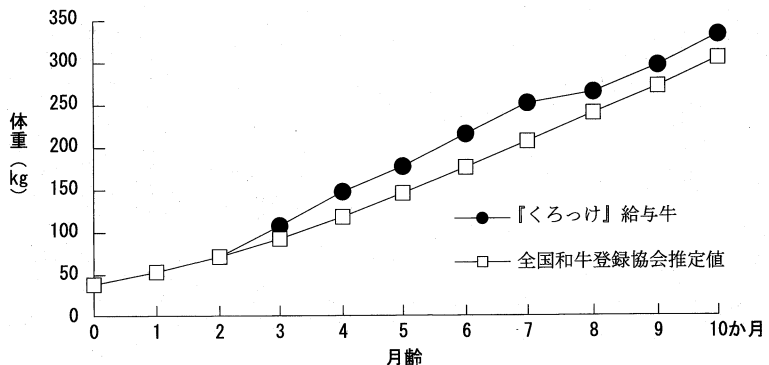


図1. 体重の推移 (kg)

哺乳期を健康に育てることにより、離乳後の増体成績もぐんと伸びます。